

第6次山形県保健医療計画における取組みについて(概要)

1 趣旨

- 昨年3月に策定した第6次山形県保健医療計画では、毎年度、目標の達成度や事業の実施状況等について、点検・評価を行うこととしている。
- このたび、平成25年度の主な取組み等を取りまとめたところであり、山形県保健医療推進協議会において協議いただき、来年度以降の施策展開に向けた御意見を頂戴するもの。
- なお、未だ計画初年度が終了していない段階であり、ほとんどの項目において目標に対する実績値が未確定の状況。
目標の達成度については、来年度以降、順次、確認していくこととし、今回は、「平成25年度の主な取組み」、「今後の推進方向」を中心に協議いただきたい。

2 平成25年度の主な取組み、評価及び今後の推進方向

⇒ 資料1-2のとおり。

《主な成果及びこれを踏まえた今後の推進方向》

(1) 疾病及び事業ごとの医療連携体制の整備関係

(がん)

- ・ がん患者の就労支援に向け、連絡会議の立ち上げにより関係機関の連携体制を構築した。

今後、治療、就労、外見上の悩みに関するワンストップ相談会を開催するとともに、薬剤性脱毛に悩むがん患者のウィッグ購入費用への助成を実施していく。

(精神疾患)

- ・ 精神疾患のうち自殺対策について、普及啓発、相談支援、人材養成など総合的な施策展開により自殺対策の充実が図られた。

20歳代の自殺者数が増加傾向にあるため、今後、Eメール相談、自殺対策のモバイルサイトの開設、薬局の薬剤師等への自殺予防研修の実施など、若年層やハイリスク者に重点を置いた自殺対策を強化していく。

- ・ 精神科医療の確保充実について、「うつ病等医療連携促進検討会」を設置し、一般診療科医と精神科医の連携促進について検討を実施した。
今後、検討結果を踏まえ、精神疾患の早期発見・適正治療に向けた一般診療科医と精神科医の連携を促進していく。

(救急医療)

- ・ ドクターヘリの安全かつ円滑な運航を実施するとともに、隣県との広域連携（相互応援）を開始した。
引き続き、救急医療の充実に向けた取組みを継続していく。

(災害時における医療)

- ・ 大規模災害時に広域的な医療支援を迅速に行えるよう、山形空港に広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）を整備した。
来年度、庄内空港にもSCUを整備する。

(2) 在宅医療の推進関係

- ・ 県、市町村及び関係団体 40 団体の計 76 団体により、健康長寿安心やまがた推進本部を設置した。
今後、同本部を推進母体として、地域包括ケアシステムの構築に向けた施策を展開していく。

(3) 健康づくりの推進関係

- ・ 受動喫煙防止対策検討委員会を開催し、受動喫煙防止対策に係る今後の推進方向についての報告書をいただいた。
これを踏まえ、今後、効果的な受動喫煙防止対策を推進していく。
- ・ 要介護となる原因の第1位である脳卒中を予防するため、県立米沢栄養大学と連携・協力した減塩食育施策（減塩商品等を簡単に選択できる環境の整備）を推進していく。

(4) 障がい者保健医療福祉の推進関係

- ・ 発達障がい児等のライフステージに応じた支援のために、情報共有ツールとなる「やまがたサポートファイル」を作成した。
来年度、「やまがたサポートファイル」の試行を開始するとともに、同ファイルの普及定着に向けた検討会や説明会を開催する。
- ・ 常時医療的ケアを要する重症心身障がい児の受入れと、発達障がい児診断等外来機能の充実に向け、県立総合療育訓練センターに新たな医療棟を整備するための基本設計及び実施設計を行った。
今後、新たな医療棟の整備を実施していく。